



先日、市内行幸田地内の林業作業現場に視察に行きました。山林所有者の委託を受けて、渋川広域森林組合が作業しています。かつてのチェーンソーや斧おのを使う山仕事と違って、林業の



▶林業作業現場で作業の説明を受ける

機械化が進んでいることに驚きました。

タワーヤーダ、フェラーバンチャ、ハーベスタといった大型機械を駆使して作業道を切り開き、機械のチームで木をつかんで枝払いをし、一定の長さに玉切りをして、トラックに積み込みます。残った根っこも機械で引き抜き、あつという間に作業が進んでいきます。

作業に従事しているのは、20〜30代の若者です。林業が好きでこの仕事に就いたと話していました。

渋川市は、面積の54割が森林です。森林は、木材として建築や家具に使われるだけでなく、治山や治水など災害から国土を守る役割、水を蓄える緑のダム^②の役割、CO₂を吸収し地球環境を守る役割など、私たちの暮らしに欠かせない大切な役割を担っています。

間伐や枝打ち、下草刈りなどの手入れをした山は、とてもきれいです。

御神木、霊山など、昔から木や山には神が宿るといわれています。不法投棄や無断伐採をしないで、森林を大切に守りましょう。